

令和8年度 大田区立小学校長会

I 活動方針

「大田区教育大綱」及び「おおた教育ビジョン」等の趣旨を踏まえ、本区小学校教育の充実を目指し、着実かつ継続的に教育実践を重ねていく。おおた教育ビジョンの理念「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」を実現するための3つの基本方針に基づき、各学校において未来社会の担い手であるこどもたちの資質・能力の育成を図る教育活動の一層の充実を目指す。

II 重点事項

- 1 創造的な資質・能力の育成を目指す教科「おおたの未来づくり」は全校実施2年目となり、さらなる実践の充実を目指す。
- 2 国際教育の推進として英語教育の充実、いじめや不登校、問題行動等の対策、コミュニティ・スクールの全校実施等、様々な取組を着実に推進していく。
- 3 「大田区の教育がめざすこども像」を踏まえ、校長相互の連携を密にするとともに、力を結集し、区教委と連携して学校経営上の課題解決に取り組む。

III 活動・取組

- 1 本会組織の強化と活動の充実を図る。

- (1) 組織力を有効に機能させ、より効果的で充実した活動ができる体制をつくる。
- (2) 会員相互の親睦を深め、協働意識を高めるとともに研修の充実を図る。

- 2 新しい教育の創造と教職員の資質向上を図る。

- (1) 「おおた教育ビジョン」(令和6年度～10年度)の3年目に際し、これまでの取組を総括しつつ「おおた教育ビジョン」の趣旨を再度確認、十分理解して各校の学校経営計画等に反映させ、特色ある学校づくりを一層推進する。
- (2) 東京都及び大田区教育委員会、大田区教育研究会と連携し、教職員の資質向上を図る。また校長会が中心となり、学校の中心となるミドルリーダーや教育管理職候補者の育成に努める。

- 3 教育委員会との連携を深め、協力体制を確立する。

- (1) 教育行政との連携を密にし、円滑な協力体制を確立する。
- (2) 教育諸条件(人材確保、教育施設、職場環境)の整備・充実を図る。

- 4 保護者・地域・関係機関との連携を図る。

- (1) 公立学校は地域の学校であることを校長自らが自覚し、コミュニティ・スクールの運営をもって教職員・保護者・地域と一体になって開かれた学校、児童・保護者・地域の期待に応えられる学校づくりを推進する。
- (2) 三位一体となってこどもたちの健全育成の推進や規範意識の向上に努める。

IV 地区の特色

東京都の東南部にあり、面積は23区で一番広く、人口は23区で3番目に多い大規模な自治体である。日本の玄関口である羽田空港を有する大田区は、高度な加工基盤技術をもつ中小企業が集積する国内有数の「ものづくりのまち」であり、研究開発やベンチャー・スタートアップの区内立地のほか、大森の海辺や多摩川沿いの豊かな自然、田園調布、久が原など台地部の美しい街並みを有し「東京の縮図」といわれる多くの魅力と可能性をもった街である。

